



日比谷花壇「葬儀に関するアンケート調査 2010」結果発表

無宗教葬を希望する人が都心部で増える傾向に。

葬儀の予算は「わからない・考えたことがない」に次いで「50万円以上 100万円未満」が多い結果に。
故人のために「故人に化粧をして、好きな服で旅支度を調えたい」とする人も25%に。

フラワーギフトの企画・制作、ブライダル装花のほか、お葬式サービス「フラワリーフューネラル」を展開する、株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、喪主や遺族として葬儀を行う際の考え方や意識を調査することを目的に、首都圏在住者に対してインターネット上で「葬儀に関するアンケート調査」を実施しました。その結果を以下の通り発表します。

《アンケート概要》

実施期間: 2010年5月14日～5月20日

実施方法: インターネット上で、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県に在住の30歳以上60歳未満の男女についてアンケートを実施。有効回答数2322人。(属性の詳細は別紙3を参照。)

《アンケート結果ダイジェスト》 *アンケート結果詳細は、別紙1～3(次頁以降)を参照ください。

◆【都心部で増える無宗教葬】

希望する葬儀のスタイルに関して、「仏教」または「信仰はしていないが、仏教で行う」と回答する人が依然として圧倒的で、合わせて約59%であるものの、「無宗教」式を希望する人の割合が、約14%となり、これまで一般に公開されてきた葬儀に関するアンケート調査結果と比較し、増える傾向にあります。

◆【葬儀の予算は、「わからない・考えたことがない」に次いで「50万円以上 100万円未満」が多い結果に】
「わからない、考えたことがない」という人が全体の約26%と最も多く、次いで「50万円以上 100万円未満」と回答する人が約20%で一番多い結果となりました。

◆【葬儀社選びも家族・親戚など人からの紹介と合わせて、インターネットを活用】

葬儀社を探す場合、家族・親戚、知人・友人の紹介など人からの紹介が多いものの、紹介とあわせてインターネットで探すという人が、約37%となっています。

◆【希望にそったものにした、故人のために行いたいものは、葬儀の中でも特に“故人に近い部分”】

葬儀の中で特に希望にそったものにしたものとして、「遺影写真」、「花」、「祭壇」の回答が多く、半数近くの人が故人のために「故人の思い出の品物や手紙を棺に入れたい」、また約25%の人が「故人に化粧をして、好きな服で旅支度を調える」としています。

◆【約75%の人が葬儀の花へのこだわり・必要性を感じている】

葬儀には「綺麗な花がほしい」あるいは「花は必要」という回答が75%となっています。

株式会社日比谷花壇について

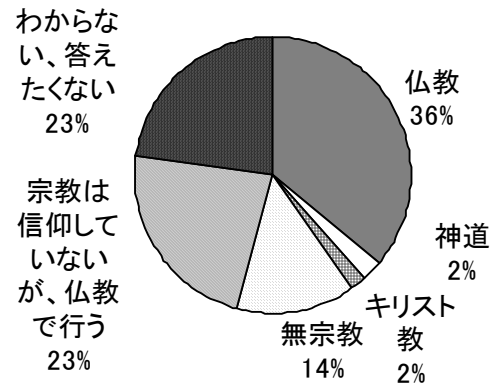
1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約180店舗を展開。フラワーディスプレイ、フラワーギフトの企画・制作・販売、装花を伴うイベントのプロデュース等を行い、花とみどり溢れるライフスタイルを提案しています。2004年秋からは、葬儀事業展開も開始し、お葬式サービス「フラワリーフューネラル」として、お客様の望む葬儀を演出しています。

《アンケート結果詳細》

◆ 都心部で増える無宗教葬

「希望する葬儀スタイルは」という問いに対して、「仏教」「信仰はしていないが、仏教で行う」と回答する人が依然として圧倒的で、合わせて約 59%であるものの、無宗教式を希望する人の割合が、2007 年の財団法人日本消費者協会による調査*で 7.8%(首都圏)であったのに対して、今回の当社のアンケートでは約 14%となっています。今回のアンケート回答者の住む都心部(東京、神奈川、千葉、埼玉)で、無宗教葬が増えていることが数字として表れていると言えます。

* 財団法人日本消費者協会発表「第 8 回 葬儀についてのアンケート調査」報告書の葬儀の形式に関するアンケートより



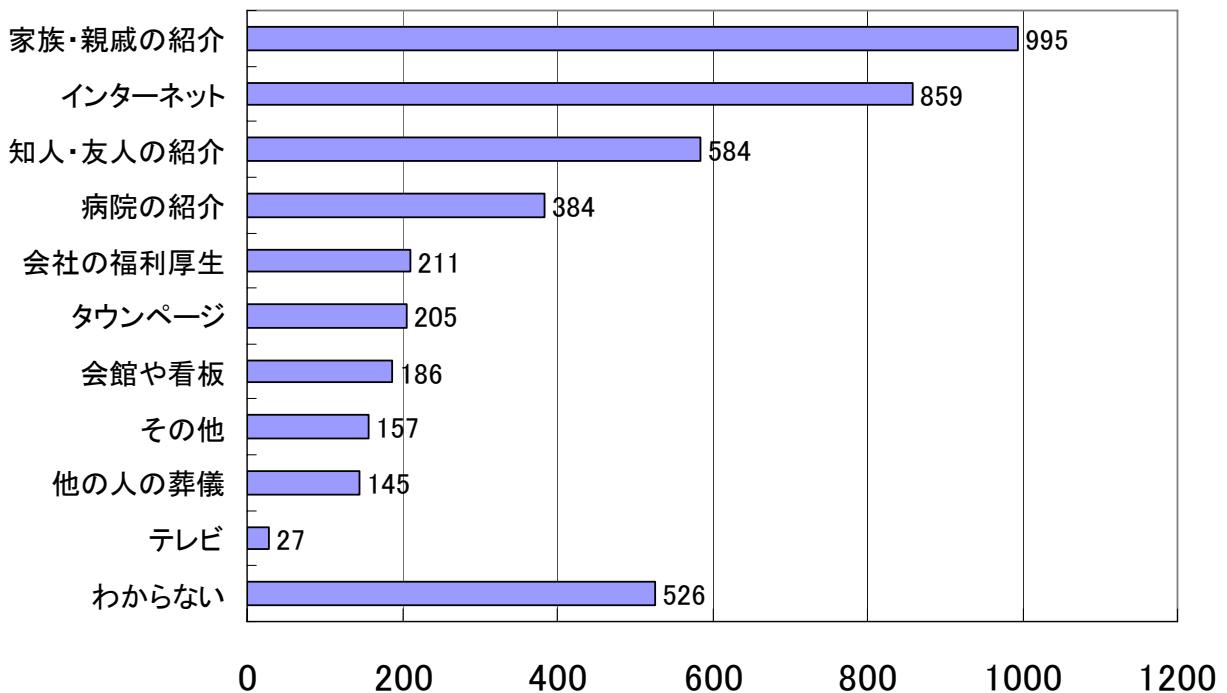
◆ 葬儀の予算は、「わからない・考えたことがない」に次いで「50 万円以上 100 万円未満」が多い結果に

喪主あるいは遺族として葬儀を行った経験がある回答者と、ない回答者の比率が 1:1 であるが、「どのくらいの予算で葬儀を考えるか」という問いに対しては、「わからない、考えたことがない」という人が全体の約 26%と最も多く、次いで「50 万円以上 100 万円未満」の回答が約 20%となっています。

10万円未満	1.9%
10万円以上50万円未満	8.1%
50万円以上100万円未満	19.4%
100万円以上200万円未満	6.6%
200万円以上300万円未満	3.4%
300万円以上400万円未満	0.4%
400万円以上500万円未満	0.3%
500万円以上	0.5%
なるべく安く	3.9%
状況(相場、平均、相手、内容など)による	1.6%
任せる	0.1%
その他	2.2%
わからない、考えたことがない	25.7%
無回答	25.8%

◆ 葬儀社情報の収集にもインターネットが活用されている

「葬儀社を探すときに使うものは」という問い(複数回答可)に対して、一番多い回答が「家族・親戚の紹介」(約 43%)、続いて「インターネット」(約 37%)「知人・友人の紹介」(約 25%)「病院の紹介」(約 17%)となっており、人からの紹介と合わせて、インターネットでも葬儀社を探す人が多いと言えます。

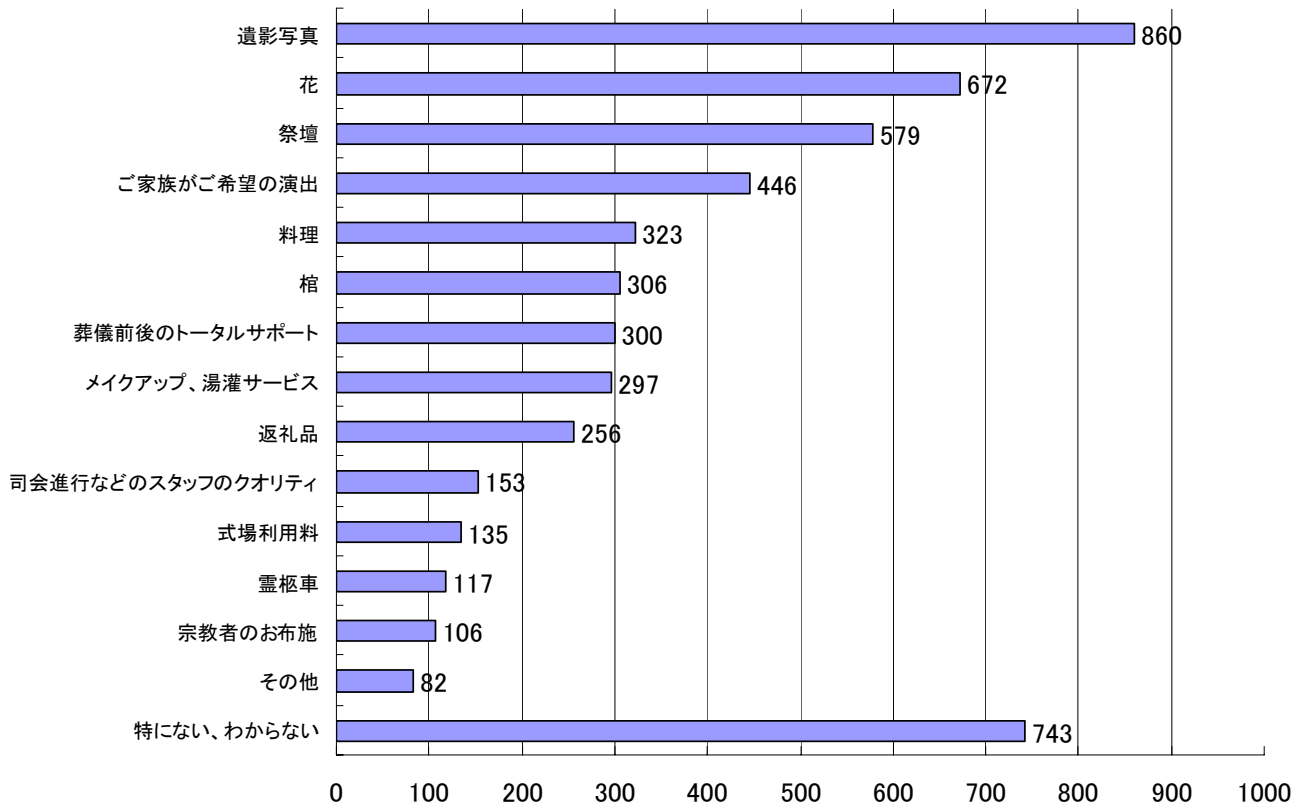


◆ 希望に沿ったものにしたい、故人のために行きたいのは、葬儀の中でも特に“故人に近い部分”

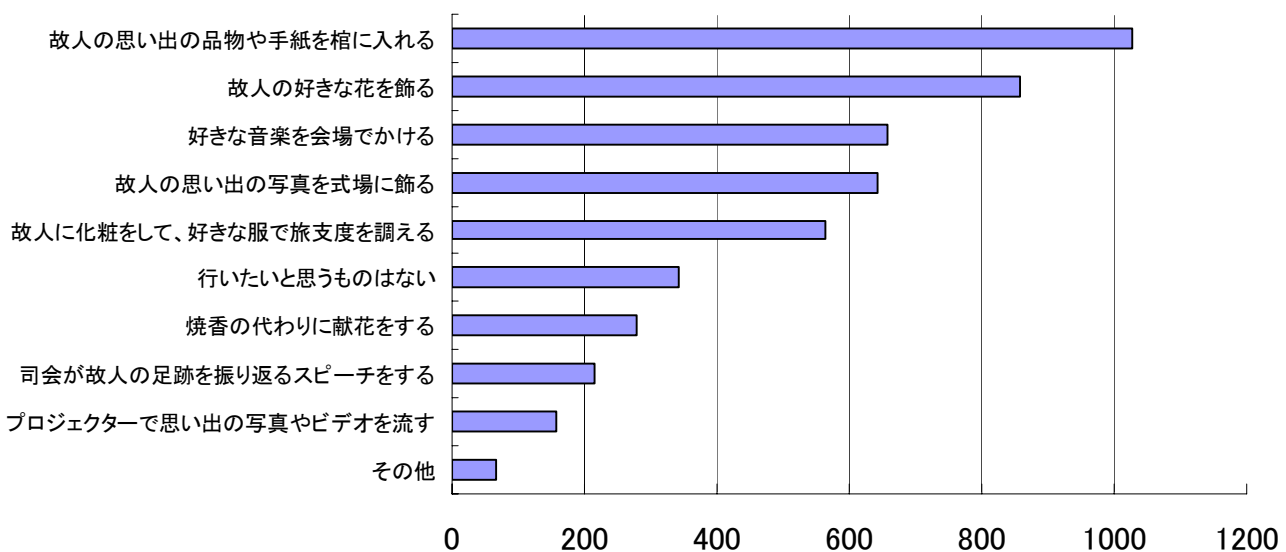
「葬儀の中で、できるだけ故人や遺族の希望に沿ったものにしたいものは」という問い(複数回答可)に対して、「遺影写真」との回答が約 37%、「花」が約 29%、「祭壇」が約 25%となっています。

また「喪主になった際、故人のために行いたいと思うものは」という問い(複数回答可)に対して、「故人の思い出の品物や手紙を棺に入れる」という回答が約 45%、「故人の好きな花を飾る」という回答が約 38%、また「故人に化粧をして、好きな服で旅支度を調える」との回答も約 25%となり、この問いに対しても、葬儀の中でも特に“故人に近い部分”を特に重要視していることがわかります。

葬儀の中で、できるだけ故人や遺族の希望に沿ったものにしたいのは

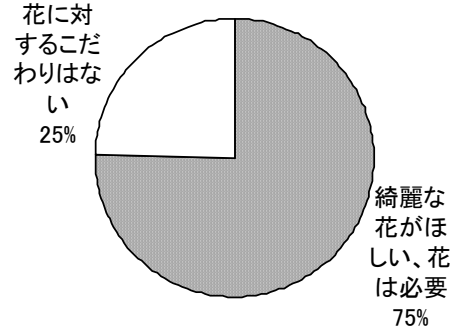


喪主になった際、故人のために行いたいと思うものは



◆ 約75%の人が葬儀の花へのこだわり・必要性を感じている

「葬儀で使用する花に対して、こだわりをもちたいと思いますか」という問いに対して、「綺麗な花がほしい」あるいは「花は必要」という回答が約 75%となりました。男女別にみると、女性は約 82%、男性でも約 71%が、葬儀での花に対するこだわりや必要性があると回答しています。



◀ 回答者属性詳細 ▶

性別	
女性	793
男性	1529
合計	2322

年齢層	
30～34歳	326
35～39歳	469
40～44歳	482
45～49歳	493
50～54歳	338
55～59歳	214
合計	2322

職業	
会社員	1116
会社経営・役員	74
派遣・契約社員	132
パート・アルバイト	109
主婦・主夫	349
個人事業主(自営業)	189
公務員・教職員・非営利団体職員	107
専門職(弁護士・医師・会計士等)	43
農林漁業	10
学生	9
無職	143
その他職業	41
合計	2322

◆ 日比谷花壇のお葬式サービス「フラワーフェューネラル」

株式会社日比谷花壇は、長年手掛けてきたブライダルなどでの装花やフラワーアレンジメントのノウハウ・デザイン力を活かし、2004年10月、葬儀事業を開始。お客様の望む葬儀を演出するお葬式サービス「フラワーフェューネラル」を展開しています。

「フラワーフェューネラル」は、花祭壇をはじめとしたお花はもちろん、事前相談から、病院へのお迎え、葬式当日の管理・運営・アフターフォローまで、葬儀をトータルでサポートするサービスです。遺族の深い悲しみが少しでも癒されるように、花本来のもつ優しさや美しさを活かしながら、お客様が持つ価値観を最優先し、お客様の望む葬儀を実現します。

宗派は問わず、仏式、キリスト教式、無宗教式など、要望に合わせて様々なスタイルに対応します。また料金は何項目もある葬儀に必要な備品などを明示した上で、料理など人数によって変動する料金も明確に提示し、お客様が一つ一つサービスメニューを確認し、納得できる明瞭な料金体系となっています。

故人らしい葬儀を重視するオリジナルオーダーメイドの“こだわりの葬儀”、家族だけで心のこもった葬儀を執り行いたいと望むお客様向けの“家族葬プラン”、通夜や告別式を行わず、火葬場等でお別れをする直葬プラン“おくりばな”など、葬儀を執り行うお客様の幅広いニーズに応える様々なスタイルの個人葬をサポートしています。

フラワーフェューネラルサービス対象地域：

東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、大阪府・京都府・兵庫県の一部、札幌市（2010年7月現在）

サービス詳細：<http://www.hibiya-lsp.com/> を参照ください

以上